

行政視察報告書

令和4年1月16日

長浜市議会議員 草野 豊 様

長浜市議会議員

松本長光

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 会派 恵風会 行政視察
2. 視察期間 令和4年1月6日（木）
3. 視察場所及び目的
① 東近江市 「箕川未来協議会の活動について」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

① 高齢化率が9割近い箕川町、この地域で現在一棟貸しホテルの開業を目指しておられる。どのような思いから活動をはじめられたのか、地域の皆さんの、未来の箕川に対する思いと、市の関わりについて、私たちが学ぶべきことは多いと考える。

② 過疎化・高齢化が進む地域で、新たな取り組みのきっかけを、誰がどのように作られたのか知りたい。

・視察の内容

今回、『クミノ工房』代表の井上慎也氏にお話をいただきました。まず、井上氏のこれまでの経歴と、政所の近くにある山に囲まれ、人工的な音が聞こえない。景色もいい箕川でクミノ（シンプルなつみ木）を制作することからはじまったよ

うですが、このまま何もしなければ町はなくなってしまうとの危機感を強く持たれたとのこと。当然、地域の皆さんも同じ思いだったのでしょう。そんな時、住民の有志で兵庫県の古民家を活用したホテルを視察したこと。政所町で市が同様の構想を描いておられことがきっかけで、自分たちも自分たちにできることをやろうと、『箕川未来協議会』が発足したとのことでした。上手く地域の方と井上さん、そして市の後押しが原動力になったのだと感じます。

地域の合意も、様々な意見や思いがある中で、実施に向けた会議を重ねられているとのことですし、特に市の担当の方が事業の推進に欠かせない、資金繰りのプロである銀行関係者の方にも、協議会への参加を求めておられていることは素晴らしいとおっしゃっていました。様々なしつかりとした想定をされており、実際、ホテル経営を委託しながら行っていく事業はなかなか簡単ではないと思いますが、もう一度地域を見直し、価値の再認識を行う素晴らしい機会であると同時に、ぜひ人々の笑い声がこだます地域となるよう、今後の事業の進捗に期待し、勉強させていただきたいと思います。

・視察の結果を本市にどのように反映させるか

昨年より、市内の過疎地域が広がりました。長浜市と地域にとって、我が事としてこのことを認識しているのか、難しいとあきらめてしまうのか、その真価が今こそ問われていると思います。誰かが何かのきっかけを起こし、誰もがその思いに同感し、みんなが一緒に行動を起こすことが、大切な第一歩だと思います。その意味からも、今回の視察は大いに参考になりましたし、誰かが動き出すのを

待っているような時間的余裕がないことを、私自身しっかり認識したいと思いま
す。